

■ **田中王堂** 哲学者、評論家。アメリカでデューイから教え受け、日本のプラグマティズムを先駆し、日露戦後に論壇の雄。

たなかおうどう

大政奉還・・1867 = 武蔵国入間郡中富村(埼玉県所沢市中富)で、旧家の次男に生まれる。

明治維新・・1868 = 1歳：

明治6年政変 1873 = 6歳：

三つの反乱・1876 = 9歳：

明治14年政変 1881 = 14歳：養子に出されたが、

間もなく養家を飛び出して上京、中村正直の同人社、東京英和学校(青山学院の前身)、東京専門学校(早稲田大学の前身)、京都同志社などで学んだが、いずれも中退、

内閣発足・・1885 = 18歳：

徴兵検査を機に郷里に呼び戻され、遊学を禁じられて家業に従っていたが、やがて山形鶴岡のアメリカ人宣教師の経営する英語学校の助教となり、

初の対等条約 1888 = 21歳：_アメリカ留学を決心、父の強い反対があったが、兄が代わって説得してくれ、

帝国憲法発布 1889 = 22歳：_無一文で渡米、聖書学校に学んだ後、

帝国議会始・1890 = 23歳：_ケンタッキー大学に移り、

郡司千島探検 1893 = 26歳：_草創期にあったシカゴ大学に転校、

日清戦争始・1894 = 27歳：_赴任してきたジョン=デューイに学んで決定的な影響を受け、
またジェームズやサンタヤーナらの感化を受ける。

八幡製鉄始・1897 = 30歳：_シカゴ大学大学院を卒業して、帰国。

子規句歌革新 1898 = 31歳：_東京高等工業学校(東京工業大学の前身)の英語教師となる。

田中正造直訴 1901 = 34歳：_初めて発表した論文で、中江兆民の「統一年有半」を批判。

日比谷公園・1903 = 36歳：

日露戦争終・1905 = 38歳：

満鉄発足・・1906 = 39歳：_ {哲学雑誌}誌上で、桑木厳翼と論争する。

アララビ創刊・1908 = 41歳：_この頃から、_ {明星} {中央公論}などの誌上で、島村抱月・岩野泡鳴ら、当時の代表的自然主義文学者たちを批判し、自然主義をより高次の象徴主義へと止揚しようと、多くの論考を発表し、

大逆事件判決 1911 = 44歳：_「書齋より街頭に」で注目される。他方、日本のプラグマチカルな思想家「二宮尊徳の新研究」を刊行、

明治天皇没・1912 = 45歳：_「哲人主義」、

大正政変・・1913 = 46歳：_「わが非哲学」以降、思想的に純化され、面目が発揮されて行く。

第一次大戦始 1914 = 47歳：_退職して、_早稲田大学教授となり、彼本来の哲学を講じ、正宗白鳥ら自由主義者を輩出。

21ヶ条要求・1915 = 48歳：_「改造の試み」。***さらに「福沢論吉」で、初めてその思想の本質的意義(プラグマチズム)を指摘した。**

民本主義・・1916 = 49歳：_ **タゴールが来日した際、彼が官僚・官学・政党・財閥の発言に惑わされぬよう注意を喚起する文を書く。**
立教大学教授などを歴任する。

本格政党内閣 1918 = 51歳：_「徹底個人主義」、

ベルサイユ条約・1919 = 52歳：_「国民哲学の建設」。**_デューイが来日。**

原敬首相暗殺 1921 = 54歳：_「芸術と享楽」。**_中国から帰国の途にあったデューイが日本に寄る。**

護憲三派圧勝 1924 = 57歳：_「象徴主義の文化へ」、

治安維持法・1925 = 58歳：_「改訳の哲学」など、***大正末期まで健筆をふるったが、**

海軍軍縮条約 1930 = 63歳：

満州事変・・1931 = 64歳：

五一五事件・1932 = 65歳：_全身衰弱のため、東大病院で_没した。